

かまくら

LIBRARY

図書館

SINCE 1911

No.135

だより

令和3年(2021年)5月24日発行

● 鎌倉市図書館のホームページ

パソコンから <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp>

スマートフォン <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/s/>

スマートフォン版

QRコード→



● Twitterで知られざる図書館情報 随時配信中

http://twitter.com/kamakura_tosyok



前号(134号)でお知らせしましたファンタスティック☆ライブラリー109が、無事終了しました。当初、コロナ禍において中止にすることも考えましたが、展示に特化し、またホームページ上でも展示を見ることができるようになり、動画を活用したりとステイホームにも対応するようにし、新たな形でファンタスティック☆ライブラリーを披露することができました。

しかも、令和3年3月23日から29日には地下道ギャラリーで展示を行う機会を得て、さらに多くのみなさんに披露できました(ケーブルテレビでも流れました!!)。

ざっくりですが、各団体の展示を「かまくら図書館だより」版としてご紹介します。

【鎌倉視聴覚協会のあゆみ】

鎌倉視聴覚協会

長く鎌倉市内で16ミリ映画の上映会を行ってきた団体が、令和3年3月末をもって活動を休止しました。

図書館でも数多くの上映会が行われ、今では貴重となった16ミリフィルムに触れる機会をつくっていただきました。

これまでの上映会のちらし(ミニチュア)が歴史を物語っていました。



【続・腰越に生きた女性たち】

かまくら女性史の会

沖本幸子、三枝仁子、ナデジタ・パヴロバ。モンタナ幼稚園と腰越にゆかりのある女性たちに焦点をあてた研究成果を発表しました。

腰越では行政センター 1 階で展示を行い、多くの地元の方にご覧いただくことができました。



【田辺松坡と松坡文庫】

松坡文庫研究会

教育者、漢詩人、文化人と様々な顔を持つ田辺松坡（本名：田辺新之助）の足跡から鎌倉での活動や功績を紹介するパネル展示のほか、動画配信も行いました。

興味深く展示をご覧になった方や、中には松坡が設立した学校の卒業生もいらしたのではないのでしょうか。



1. 田辺松坡とはどんな人？

松坡は号で呼ばれ新之助（名は正守、字は子鶴）といいます。明治中頃から太平洋戦争期にかけて活躍した教育者・漢詩人です。教育者としては公立学校（現、国成中学校・高等学校）の英語・地理教授であり、学校長も務めました。校長在任中に、女子に第二国成学校（現、国成中学校・高等学校）を、鎌倉に鎌倉女学校（現、鎌倉女学校中学校・高等学校）を設立し、自ら校長に就任しました。一時は三校の校長を兼務するという多忙の日々をおくりました。

田辺松坡の肖像（複製）

田辺松坡 1943

幼い頃から親しんだ漢詩の分野では、日本を代表する漢詩人に学び、近代日本漢詩壇の中心人物として活躍しました。明治 30 年代終わり頃から亡くなるまでの長きにわたり鎌倉に住みましたが、鎌倉で詩社（松坡）を主宰し、多くの政治家・経済人・文化人と交際する中で、鎌倉市宛に對して寄贈的役割を果たしながら、文化の繁り高い環境な都市鎌倉の文化発展に大きく貢献しました。尚、長男 元（1885～1962）は文化勲章を受章した哲学者、次男 室（1896～1996）は黒田清純門下の西洋画家です。

【間島弟彦・間島愛子夫妻と鎌倉】

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

間島弟彦・間島愛子、このご夫婦をご存じでしょうか？旧鎌倉図書館、鎌倉国宝館の建設や英勝寺山門の再建などに多大な寄付をし、教育文化事業に大きく貢献しました。

鎌倉市図書館を語る上で、欠くことのできないお二人です。

旧鎌倉図書館の建設

明治44年に創設された鎌倉町立図書館は関東大震災で全壊。町民から図書館の再建が望まれるものの、町の財政難により進展しなかった。

愛子は弟彦名義で1万3千円余の寄付を行い、昭和11年、御成小学校敷地内に町民待望の旧鎌倉図書館が再建された。翌12年、町議会で弟彦を顕彰する碑を建てることになり、高さ3mを超える大きな石碑が建てられた。上部に弟彦の肖像が彫られている。

「間島君旌徳碑」の題字は同人会理事長、国宝館初代館長を務めた荒川已次が揮毫、撰文と書は田邊新之助、画は白瀧幾之助、刻は石井玉泉と記されている。

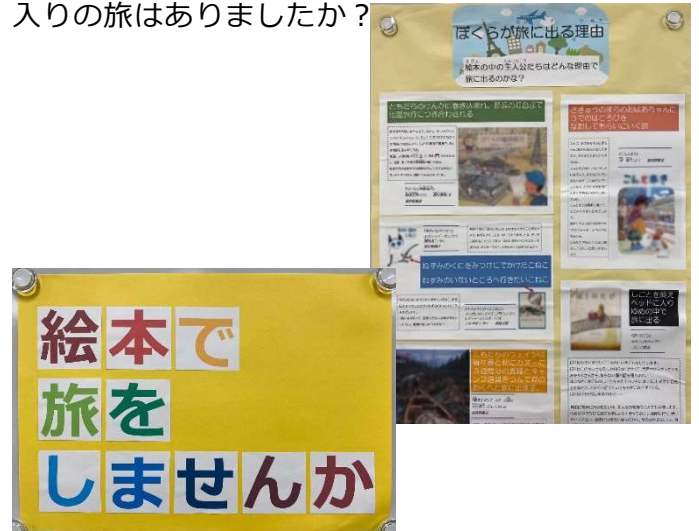


【絵本で旅をしませんか】

おはなしひろこせん

絵本や紙芝居で想像の羽を広げ、旅に出かけましょう!!

渡り鳥の旅／冒険の旅／紙芝居で家族旅行気分／旅する生き方／さくらを待つ旅／世界を旅するアオウミガメの一生…約80年／ぼくらが旅に出る理由、の7つの旅を提案しました。お気に入りの旅はありましたか？



地味に大変 蔵書点検!!

「蔵書点検」は図書館の資料がきちんと図書館にあるかどうかを確認する、とても大切な作業です。資料一つ一つをバーコードリーダーで読み取り、所蔵リストと照らし合わせます。もしも資料がない場合には書棚の裏や下などに落ちてないか探します。壊れたり汚れたりしている資料がないか、資料



の状態を逐一確認する機会でもあります。「図書館が休館になってしまって嫌だなあ」という方もいらっしゃるかもしれませんが、蔵書点検をすることで、図書館の資料の正しい状況を皆さんにお伝えできるのです。休館日数も最小限にして、職員一丸となって作業しますので、ご理解ください。

令和3年度（2021年度）

蔵書点検（特別整理休館）の日程

深沢・大船図書館 5月18日（金） 終了しました

腰越・玉縄図書館 5月25日（火）～28日（金）

※中央図書館は令和3年度中に耐震工事が予定されているため、耐震工事期間中に行う予定です。

豆知識

「書物を広げて、風にさらしたり、虫干しをすること」を「曝書（ばくしょ）」と言い、昔の図書館ではこのように蔵書の確認をしていたそうです。今でもその名残りで、蔵書点検を曝書と言うことがあります。

今年もオススメします

毎年、児童奉仕委員会とYA委員会では、小学生用と中学生用に「なつやすみにおすすめ」の本を選んでお知らせしています。

担当職員はそれぞれが「面白い」「読んで欲しい」と思う本を選んで、それがオススメするのにちょうどいいかどうかお互いに読み合って決定します。



読むのも選ぶのも大変ですが、普段、自分が読まないジャンルの本にたくさん触

れ合うこともでき、職員にとっても良い刺激となっています。

ジャンルが偏らないように選んでいますので、食わず嫌いならぬ、読まず嫌いを克服する機会になればと思います。夏休み前には各小中学校にリストをお届けしますので、普段手に取らない本、これなら読めそうと思う本があったら手に取ってもらえると嬉しいです。

すくすく成長しています

昨年、玉縄図書館でおこなった展示『海を渡った鎌倉のユリ』を主催した「鎌倉玉縄ユリ・プロジェクト」では、活動の一環として、玉縄地域の公共施設等にユリの球根を植えて「ユリの里」を目指して活動しています。玉縄図書館でも球根をいただき、玉縄行政センター入口脇の花壇に、昨年秋に植えました。



2021.4.8 撮影

芽が出たと思ったらあっという間に大きくなって、ビックリしていますが、毎日大きくなる姿を見るのはとても楽しいです。玉縄図書館へお出かけの際は、ぜひその成長を実際にご覧ください。

また、ユリに関する資料のブックリストも更新しましたので、そちらもどうぞよろしくお願いします。ブックリストは各館で配布の他、ホームページでもご覧いただけます。

URL : https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/riyo_search.html

「近代史資料室だより」 第7号発行しました

お待たせいたしました！

第7号では「岩瀬村の小名」（「小名」は昔の地名の一つ）の報告をはじめとして、「鎌倉絵図」を再現、古文書紹介などなど、盛りだくさんな内容となっています。

市内図書館で配布しているほか、図書館ホームページでもご覧いただけます（ホームページではカラーでご覧いただけます）。

また近代史資料担当による郷土資料展・郷土資料ミニ展示も予定しています。是非、お出かけください。

2021 年

ミニ展示：5月13日（木）～6月16日（水）

「地域に残る小名（こな）の歴史～岩瀬村～」
場所：中央図書館 1 階ロビー

郷土資料展：6月22日（火）～7月4日（日）
「裕仁親王（昭和天皇）渡欧100周年写真展」
場所：中央図書館 3 階廊下

本は水が苦手です

本は紙でできているため、水にとっても弱いです。

これから梅雨の季節がやってきて、雨に濡れることもあります。夏には、冷たい飲み物を持ち歩く機会も多くなり、容器の水滴が本を濡らしてしまったり、冷凍・冷蔵の食品の水滴でも同様に、気づかないうちに濡れてしまったりすることがあります。

本は、一度濡れると、乾かしても濡れあとが残ります。本を持ち運ぶ際は、袋に入れて、水に濡れないようにしていただくと大変ありがたいです。

図書館の資料は市民皆さんの共有財産です。大切にしましょう。

※最新情報は図書館ホームページをご覧ください。

● 鎌倉市図書館のホームページ
パソコンから

<https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp>

スマートフォン

<https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/s/>